

令和4年度 第1回 水窪小・中学校運営合同協議会 会議録

- 1 開催日時 令和4年 5月12日(木) 14時50分から16時00分まで
- 2 開催場所 水窪中学校 ランチルーム
- 3 出席委員 西岡 とき子、守屋 千づる、塩崎 正敏、中 正俊、金田 和代
田中 裕彦、牧内 真美
- 4 欠席委員 三輪 嘉彦、山本 功、丹羽 一仁、守屋 貞慶、平出 寛子
平澤 文江
- 5 学 校 中村 則和(小校長)、山下 拓(中校長)、
新 英樹(小教頭)、太田 陽三(中教頭)、
- 6 傍聴者 0人
- 7 協議事項
 - (1) 開会あいさつ(会長 塩崎)
 - (2) 運営協議会委員自己紹介
 - (3) 運営協議会委員の委嘱書授与(新規3名(2名欠席)が授与)
 - (4) 議長選出
 - (5) 協議 (進行:塩崎会長)
 - ①授業参観の感想
 - ・昔は「覚える」授業 今は応用力を付ける授業。
音楽・・・歌を歌う、楽器を演奏する→リズムをつくる。
授業が変わった感じがした。(塩崎会長)
 - ・昔は水窪中も1学年6クラス 人数が多かった。
人数が減って寂しい。
人数が少ないからこそ、細やかな授業ができる。先生とのコミュニケーションもとれる。みんなが授業に参加できる。(中副会長)
 - ・先生と生徒との関係が良好。生徒たち私語なく授業に集中。
全員が自分の意見を言える。(守屋委員)
 - ・昔は水窪中300人ぐらいいた。人数が少なすぎて、先生の指導が大変。
4人の授業も30人の授業もメリット・デメリットはあるが、大事なの

は水窪ならではの子供を育てること。(西岡委員)

- ・ 1クラス40人だった。先生と生徒の対話ができている。昔は、先生がひたすら話していた。(田中委員)

- ② 水窪小学校・中学校の経営方針について(水窪小中学校各校長より)
- ・ 『自分らしさが輝く児童・生徒』の育成を小中で教育目標に掲げる。
 - ・ 幼稚園との連携を含め、12年間を見通した連携・計画とする。

※小学校・中学校の経営方針について委員全員から承認

- ③ 本年度のコミュニティ・スクールの進め方について(水窪小新教頭)
- ・ コミュニティ・スクールとは
 - ・ コミュニティ・スクールの目的、機能
 - ・ 学校職員(担任)の協議会参加により生の声を聞く場にしていきたい。

- ④ 学校経営方針の具現化及び課題改善のための取り組みについて
(水窪小新教頭・水窪中太田教頭)
- ・ じゃがた植え、たけのこ掘り、しいたけ菌打ち、田植え、水窪探検ハイク等、地域の方の力を借りて行う活動が順調にスタート。(小学校)
 - ・ 1年ディスカバー水窪実施、6月にはSkill-up&森林講座。(中学校)
 - ・ OSコーディネーターと連携して円滑な活動をしていく。

- ⑤ 夢いくやらまいか事業に対する意見書について(水窪小新教頭)
- ・ 与えられた予算を有効に活用してほしい。(塩崎会長)

(6) その他

- ◆ コーディネーターより
- ・ 昨年度の5.6年生釜炊き体験のビデオ視聴

(7) 閉会のあいさつ(中副会長)